

コメントのしかた

1. 著者の主張に賛同するか反対するかを述べる場合

次のように作業を進めるとよい。

1. 導入

コメントするテキストについて簡単に述べる。

テキストの著者はどういう問題を取り上げ、どういう意見を述べているのか？

テキスト全体を短くまとめ（要約し）、著者の主張を確認する。

2. 立場表明と問題提起

著者の主張に対して賛同するか反対するかを明らかにする。

（以下、反対の場合を例に続ける）

著者の主張、またその主張を支える重要な論拠となっている点を取り上げ、それに対する疑問・批判・反対意見を手短かに述べる。

3. 論議

著者の主張、またその主張を支える重要な論拠となっている点に対し、それに対する疑問・批判・反対意見を具体的に示しながら反論する。

・疑問「著者は・・・と述べているが、はたしてその通りだろうか。」

（なぜ疑問に思うか、その根拠を示す）

・批判「著者は・・・という点を十分に考慮していないのではないか。」

（考慮すべき点を具体的に示す）

・反対意見「著者は・・・と述べているが、むしろ反対に次のように問題をとらえるべきではないか。」

（反対意見の根拠を具体的に示し、その根拠をふまえて自分の意見を述べる）

論議に際しては、反論すべき理由・その根拠を、必ず示さなければならない。

4. まとめ

全体をまとめ、結論を述べる。

著者の主張に賛同する場合は2と3は、たとえば以下のように展開することになる。

2. 立場表明と問題提起

著者の主張に賛同することを明らかにする。

著者の主張、またその主張を支える重要な論拠となっている点を取り上げ、それに賛同する理由・根拠を手短かに示す。

3. 論議

著者の主張、またその主張を支える重要な論拠となっている点に対し、それが実際に適切・妥当であるかを吟味する。

・著者の主張に対する批判や反対意見を想定しつつ、それに反論しながら著者の主張を肯定する。

・著者は示していないが、著者の主張を支持するような論拠をほかに見つけ出して示す。

（著者の主張を肯定する根拠を自分で見つけ出して補足する）

ただ単に賛同するだけではいけない。賛同すべき理由・その根拠を、必ず示さなければならない。